



地域での備え(自主防災組織)

自主防災組織への参加

大地震などで大規模災害が発生すると、火災の同時多発や建物崩壊、道路の寸断などで防災機関が十分に機能しなくなり、各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民、地域ぐるみで一致協力して防災活動を行う「共助」が重要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所が協力し、地域が一体となって防災活動を行う団体が“自主防災組織”です。

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため日常的に行う活動(平常時の活動)と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動(災害発生時の活動)があります。“自主防災組織”の行う訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶよい機会です。ぜひ参加しましょう。

なお、防災に関する資料や訓練の方法などについてのご相談は市役所総務課 危機管理室 (☎0986-76-8876) までお問い合わせください。

自主防災組織の活動

■ 平常時の活動

防災意識の啓発、防災知識の普及

講習会や訓練を通して防災についての正しい知識を身につけましょう。

地域内の防災環境の確認

災害時に備えて、指定避難所等や避難経路の把握、被害が発生しそうな箇所の確認を行いましょ。

防災資機材の点検・整備

消火活動、救出・救護、応急手当などに必要な防災資機材を点検・整備しましょう。

防災訓練の実施

日ごろから災害に備えて訓練を行い、防災活動に必要な知識・技術を習得しましょう。

避難経路の検討

配布された防災マップをふまえて避難経路を考えましょう。

要配慮者の把握

災害発生時の避難に配慮を要する人(要配慮者)の把握に努めましょう。



自主防災組織

■ 災害発生時の活動

情報収集・伝達

災害に関する情報を収集し、市民のみなさんへ正しい情報を伝達します。



火災の消火

消火器などによる消火活動を行います。

要配慮者の避難支援

災害発生時に障がいの区分等に配慮し情報伝達を行います。また、避難行動要支援者名簿に基づいて避難支援を行います。

避難誘導

市民の安否確認や避難誘導などを行います。

救出・救護

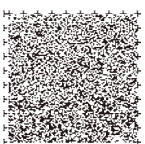
被災者の救出・救護を行います。また、高齢者や障がい者などへの支援を行います。

避難所運営

大災害により自宅で暮らせなくなった場合には、生活するために指定避難所等を開設します。みんなで役割を分担し、避難所運営を行います。食料品や救援物資の分配やそうじ、見回り、必要に応じて炊き出しなども行います。



©soo_city



消防団に入ってみよう

消防団は地域住民によって構成された消防機関で、消防署と協力して火事の消火活動や大雨時の水防活動など、地域を守る活動を行っています。

消防団員は、仕事や家庭を持ちながら地域の安全と安心を守るために活動しています。あなたの力を地域の防災に生かしてみませんか。